

市民アンケートについて

1 結婚に関するアンケート

- ・ 未婚者の半数以上に結婚の意志があるが、結婚していない主な理由については「相手との出会いがない」、「経済的に自立できていない」、「自由さや気楽さを失いたくない」など。
 - ・ 結婚し、自分の家族をもつことで、物理的な充足より、精神的な充足感を得ることができると感じている者が多い。
 - ・ 多くの人が結婚するために必要と感じていることとして、「仕事と家庭生活の両立支援」、「雇用環境の充実」、「出会いの場の提供」の回答が多い。
- ⇒ 安定的に仕事を続けることのできる環境づくりや、出会いの場の創出が必要

2 出産・子育て・働き方に関するアンケート

- ・ 「理想的な子どもの数」は2人が最も多く、次いで3人という回答が多い。
- ⇒ 本市の希望出生率は、1.72

希望出生率 1.72

$$= (\text{既婚者割合 } 0.479 \times \text{予定子ども数 } 1.82 + \text{未婚者割合 } 0.521 \\ \times \text{結婚希望割合 } 0.859 \times \text{未婚者希望子ども数 } 2.15) \times \text{離別等効果 } 0.938$$

参考：県の希望出生率 1.90

$$\doteq (\text{既婚者割合 } 0.41 \times \text{予定子ども数 } 1.87 + \text{未婚者割合 } 0.59 \\ \times \text{結婚希望割合 } 0.91 \times \text{未婚者希望子ども数 } 2.34) \times \text{離別等効果 } 0.938$$

- ・ 子どもを持つことについては、「生活が楽しくなる」など前向きな回答が全体の半数以上を占めている。
 - ・ 実際の子どもの数が理想よりも少ない理由として、約4割が「経済的負担の大きさ」と回答
- ⇒ 「経済的支援の充実」「雇用環境の充実」が必要
- ・ 出産・子育てしやすくなるために必要と感じていることとして、「経済的支援」のほか、「子育てしながら働くことのできる環境の充実」の回答が多い。
- ⇒ 柔軟な勤務体制の確立や勤務時間の削減など、企業努力、行政支援が必要

3 若者の就業・就学に関するアンケート

- ・ 市内在住で就業・就学している若者の約半数は、市外を選んでいる。
- ・ 市外で就業・就学している若者のうち、市内での企業・学校等について検討を行っているのは4割弱にとどまっている。
- ・ 現在、就業・就学していない若者の6割強は、市内での就業・就学を希望している。

⇒ 市内の就業・就学環境の充実が必要

- ・ まちづくり全体に対する評価として、「買い物などの日常生活の便利さ」、「自然災害や犯罪等の少なさ」を良いところとして挙げる回答が多い一方で、「公共交通の不便さ」や、「雇用」、「まちのにぎわい」を課題とする回答も多い。